

平成22年度 第2回 宮城大学 食産業学部 教授会（定例）議事録

開催場所	管理棟 大会議室	開催日時	平成22年5月12日（水）13:30～16:40
出席者	<p>49名／定数52名 (ファームビジネス学科) 齋藤教授、中村(正)教授、本藏教授、大竹教授、松森教授、小林(仁)教授、井上教授、小黒教授、森本教授、岩浪准教授、中村(聡)准教授、岩井准教授、川島准教授、須田准教授、紺屋講師 (フードビジネス学科) 鈴木教授、山崎教授、大久教授、池戸教授、津志田教授、石田教授、川村教授、西川教授、三石教授、下山田教授、鶴岡准教授、堀田准教授、老川准教授、森田准教授、菰田准教授、石川准教授、金内准教授、谷口助教、木下助教、君塚助教 (環境システム学科) 矢野教授、佐藤教授、加藤教授、上島教授、森山教授、北辻教授、笠原准教授、原田(鉦)准教授、神宮宇准教授、原田(茂)准教授、今野准教授、千葉講師、伊吹講師、高橋(信)助教、折笠助教 [欠席] ファーム 齊藤(秀)助教、木村教授</p> <p>(事務局) 眞山参事兼総務学務課長, 小野寺課長補佐, 深町主事 [欠席] 半田課長補佐</p>		
議 事 内 容			
審議事項	<p>議事録署名人に学部長, (ファーム) 松森教授を指名した。</p> <p>(1) 第1回議事録の確認について 平成22年4月19日付けでメール送信済み 原案のとおり承認された。</p> <p>(2) 編入生等の既修得単位の認定について 編入生8名、他1名、計9名の既修得単位の認定案について、教務委員会川村教授より資料1に基づいて説明があり原案のとおり承認された。</p> <p>(3) 履修登録上限特例認定について 履修登録上限特例認定申請者23名の認定案について、教務委員会川村教授より資料2に基づいて説明があり原案のとおり承認された。</p> <p>(4) 他学部・他学科授業科目の履修について 他学部・他学科授業科目履修承認申請者4名について、教務委員会川村教授より資料3に基づいて説明があり原案のとおり承認された。</p>		
報告事項	<p>(1) J S T 予算について 学部長より資料4に基づいて、4月27日に行われたJ S Tに関するヒアリングについて報告がなされた。</p> <p>(2) 研究費について 学部長より資料5に基づいて、22年度研究費の応募状況・採択状況について報告された。</p>		

(3) グループウェアの導入について

学部長より、業務の効率化のためのグループウェアの導入について報告がなされ、老川准教授より資料6に基づき、グループウェアについての説明がなされた。6月より導入予定であり、使用マニュアルを後日配信する予定であることが報告された。

(4) 就職内定状況について

石田キャリア開発室副室長より、資料7に基づいて就職内定状況について報告がなされた。現在の内定率は、昨年同期に比べても低い状況であり、内定につながるよう、学生の就職活動状況の確認・指導、キャリア開発室への誘導等の協力依頼がなされた。また、公務員志望の学生についても指導の協力依頼がなされた。

(5) 緊急就職支援について

緊急就職支援としての予算措置があり、食産業学部では、セミナー開催を予定していることが、資料8に基づいて石田キャリア開発室副室長より報告された。また、企業訪問等にかかる予算もあり、企業への訪問について各教員に協力依頼がなされた。

(6) 全学委員会報告

【総合情報センター運営委員会】資料9

説明なし

【国際センター運営委員会】資料10

キングモンクット工科大学トンプリ校との学術交流合意書が4月6日に締結されたことが報告された。また、上海海洋大学、日本大学、宮城大学食産業学部での合同のワークショップを7月29日に開催予定であること、オーストラリアのロイヤルメルボルン工科大学との国際シンポジウムを8月31日に開催する予定であることが報告された。

【研究委員会】資料11

公立大学法人宮城大学教員研究費要項の改正案について、海外出張の際の旅費について10万円を限度として、一般研究費を使用できるよう提案することが報告された。

(7) 学部委員会報告

【教務委員会】資料12

9月卒業希望届けが1名提出されていることが報告された。また、今年度前期に、大和の学生で、講義の重複のため、英語講義Ⅰを太白キャンパスで受講する学生がおり、講義の重複場合は他のキャンパスの講義を受講可能であることが報告された。

FDについては8月3日が全体、8月5日が食産業学部で開催予定となっていること、テーマは検討中であることが報告された。また、リメディアルが5月7日より開始すること、基礎ゼミが5月18日より各担当教員に分かれて行われることが報告された。

授業評価について、オムニバス3名で行っている講義は授業評価の実施時期が近づいてきており、実施についての確認がなされた。

【農場委員会】資料13

5月26日水曜日のお昼に太白キャンパスにて、「さなぶり」を開催予定であり、学生ボランティア・後援会にも呼びかけをしていることが報告された。また、第2、4月曜日3時限目に坪沼農場にて、作物の栽培技術を習得したいという学生を対象に、各回定員15名受け入れを行っていることが報告された。希望する学生については前の週の金曜日まで書面での申し込みが必要であり、詳細については、ファーム松森先生かフード谷口先生が窓口となることが報告された。

その他

(8) 産学官連携コーディネーター機能強化事業採択に伴う職員の採用について
事務部眞山課長より、資料14に基づいて、5月1日付けで採用となった期限付き法人採用職員について、報告がなされた。採用については、厚労省の緊急雇用対策の一環として事業委託されたものであることが説明された。応募者は、アシスタントコーディネーターに〇名の応募、コーディネータースタッフに〇名の応募で、重複〇名、実数〇名の応募があったことが報告された。また、採用となった3名についてのOJT・講義の聴講等について、各教員に協力依頼がなされた。

(9) スクールカウンセラーの勤務態様等の変更について
事務部眞山課長より、資料14に基づいて、スクールカウンセラーの勤務が週2日勤務へと変更されたことが報告された。

(10) 進路指導員の勤務期間等の変更について
事務部眞山課長より、資料14に基づいて、進路指導員の勤務時間等の変更について報告された。

(1) マルシェジャポンについて
マルシェジャポン仙台について、仙台放送より今年度も協力依頼があり、サークル、ボランティアの学生を対象に説明会を実施済みであることが報告された。実施期間は、6～9月であり、6、7月は、食品マーケティング戦略演習Ⅱの授業の一環として取り組むことも決まっているが、店舗の学生ボランティアも現在募集中である。各教員に対し、ボランティアを希望する学生の紹介と農作物の運搬について、協力依頼がなされた。

(2) 学長選考委員について
学部長より、学長選考委員について、現状報告がなされた。学長選考委員は、経営審議会、教育研究審議会それぞれ3名から構成されている。推薦については、両審議会より2名以内の推薦、また教職員10名以上で推薦ができる。教育研究審議会からの推薦は、委員2人以上が1人を推薦することで、5月19日締め切りで決定される予定となっている。

次回開催

平成22年度第3回教授会(定例) 平成22年7月14日(水) 13:30から

議事録署名人

池戸重信 印

松森一浩 印